



図書購入に役立てて 長沼ライオンズクラブ

8月2日、本町の図書購入に役立てていただきたいと、長沼ライオンズクラブ(廣川朝夫会長)から10万円のご寄附がありました。齋藤町長は「長年ご寄附をいただきありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

タンチョウも住めるまちづくりに役立てて 伊藤忠エネクス(株)

7月19日、タンチョウも住めるまちづくりに役立てていただきたいと、タンチョウも住めるまちづくりのサポーターである伊藤忠エネクス(株)(米澤公明執行役員)から54万600円のご寄附がありました。これは、同社が行っている持続可能な社会を未来に引き継ぐ活動の一環として、株主総会における議決権の電子行使により削減された郵送費用などの一部をご寄附いただいたものです。



社会貢献で感謝状 拓友道路(株)

8月2日、齋藤町長から拓友道路(株)へ、感謝状が贈呈されました。この感謝状は、町道北8号線の舗装補修工事を自発的に実施し、町民が利用する公共施設の保全に尽力され、安全で安心な生活環境の形成に多大な貢献をされたことによるものです。



「若者が訪れるまちづくり」をテーマに 大学生が長沼町観光プランを提案



7月20日、駒沢女子大学(東京都)観光文化ゼミの授業で「若者が訪れるまちづくり」をテーマとした観光プランの提案発表がオンラインにて行われました。これは、課題解決型授業の一環として行われたもので、事前に政策推進課職員が町の現状を伝えるオンライン授業を行い、それを受けてゼミ生は町の課題を分析し、解決策を考案。提案発表では若者をターゲットに町内のカフェやアウトドアなどに着目した多彩な観光プランが発表されました。



新鮮な野菜を園児たちへ 長沼町園芸組合連合会

8月9日、長沼町園芸組合連合会(荒井利夫会長)より、町からの活動助成に対してのお礼と収穫報告を兼ねて、農産物が寄贈されました。寄贈された野菜は、大玉トマト16kg、高糖度トマト4kg、イチゴ6kg、ブロッコリー24玉、アスパラガス2kg、きゅうり10kg、長ネギ3kg、スイートコーン1ケースで、これらの新鮮な野菜は、中央長沼保育園と南長沼保育園の給食で提供されました。

北海道中学校体育大会出場者の表敬訪問

7月22日、長沼中学校の生徒が中体連空知大会を勝ち抜き、全道大会に出場することを報告するため役場を訪れ、各部長が大会への意気込みを語りました。全道大会に駒を進めたのは、剣道部女子団体(越路^{かえで} 楓部長)と剣道部女子個人(越路^{かえで} 楓さん・加藤^{えれん} 絵蓮さん)、サッカー部(東山^{しまづえい} 瑛部長)で、間嶋教育長は「仲間や顧問の先生、家族に感謝の気持ちをもって、練習の成果を発揮してください。」と激励の言葉を述べました。



原爆パネル展2022を開催

8月9日、原爆パネル展2022実行委員会による原爆パネル展2022が図書館ギャラリーで開催されました。被爆体験証言者と共同制作した広島市立基町高校生による絵画や広島と長崎での原爆写真などが展示され、戦争がもたらした悲惨な光景の数々に、来館者は足を止めて観覧していました。



「少年の主張」空知地区大会最優秀賞 岸 楓珂さん

8月2日、「少年の主張」空知地区大会の表彰式が役場で行われ、最優秀賞を受賞した岸 楓珂さん(長沼中学校3年生)へ空知総合振興局から表彰状と記念品が授与されました。岸さんは「世界へ届け 私の一步 ~個性の違いを認め合う~」という題名で、差別や偏見への想いを綴り、一人一人違いのある個性を認め合うことの大切さを主張しました。